

2018 年度 5 回研修委員会議事録

日 時：9 月 20 日(木) 14:30 ～ 16:30

場 所：成城大学図書館 4 階会議室

出席者：和田貴敏（中央大学）、岡田将彦（慶應義塾大学）、桑垣孝平・渡邊幸弘（早稲田大学）、
土田大輔（明治大学）、吉水拓哉（立正大学）、吉田博貴（成城大学）

オブザーバー：新井和之（成城大学）

議 長：和田貴敏（委員長）

配付資料：

- ①2018 年度地域研修受講者一覧
- ②研修準備確認書（丸善雄松堂作成）
- ③事前アンケート集計結果
- ④北星学園大学写真
- ⑤東地区部会の研修事業（開催ローテーションの変更案）について

議 題：

1. 地域研修について

配布資料①をもとに地域研修の受講者について確認した。

申込は34名であったが、辞退者が1名出たため、最終的な受講者は33名となった。

配布資料②をもとに地域研修の各種事項について確認した。

確認内容は以下の通り。

- グループディスカッションやロールプレイング用のグループについては、3人1組とし、グループ分けは事前に講師が行い、丸善雄松堂経由で研究部事務局に連絡を貰う。
- 当日使用するテキストは、事前に丸善雄松堂が会場校へ送付する。
- 当日の机のレイアウトやプロジェクタ等の備品について。

配布資料③をもとに事前アンケートの集計結果について確認した。当日は本資料を活用してアイスブレイクが行われる。

配布資料④をもとに会場や受付の設置場所について確認した。

その他の確認内容は以下の通り。

- 北海道胆振東部地震による被害は限定的であり、会場校にも確認したところ開催には影響がないことから、その旨を受講者へ通知した。
- 当日の司会は研究部事務局が担当し、開会挨拶は会場校の図書館長が、また、閉会挨拶は研修委員長がそれぞれ担当する。

2. 今後の研修会について

配布資料⑤をもとに今後の研修会の開催サイクル等について確認した。

確認内容は以下の通り。

- 研修委員の任期中に企画から運営までを一貫して行えるよう、地域研修については配布資

料に沿ったサイクルの変更（研修委員の任期2年目に実施）を希望する。

- 地域研修の予算についても実績ベースとせず、首都圏開催の研修会同様に定額化する。その際、地方会場である点や有料会場の活用も視野に入れる必要があることから、100万円程度が妥当と考える。
- 地域研修の開催地区については研究部担当理事校と相談しながら進めるが、会場校の選定に当たっては東地区部会の役員校選定や会場校提供の実績とも関連するため、最終調整は研究部担当理事校にご担当頂きたい。
- 以上を研究部運営委員会に提案する。

3. 2019年度の研修会（首都圏）について

会場校については慶應義塾大学が候補にあがり、岡田委員から会場候補となりそうなシンポジウムスペースについて、収容人数は100名程度で机は可動式であること、会場使用料がかかる可能性があること等の説明があった。また、会場校から人員を出すことは困難であること等の説明もあった。

引き続き、今回は主にテーマ案の洗い出しを行った。

次回以降も研修会の実施方法やテーマについて検討を行い、基調講演を依頼する講師や外部委託するか否かについて意見交換することになった。

4. その他

今後の研修委員会のスケジュールについて確認した。次回は11月に早稲田大学で開催となるが、日程については15日（木）と22日（木）を候補日とし、後日メーリングリストにて確定させることとした。

今回は地域研修の振り返りを行い、2019年度研修会について引き続き検討を行うことになった。

以上